

◎くらしよし倉吉スカイ作戦（3）～まちづくり 「住み続けたい、帰りたい、行ってみたい」まち

1 現状、5年後、10年・20年後のまちづくり

- ①どんなまちづくりをめざしているのか。（めざすまち）
- ②中心市街地活性化基本計画と倉吉市未来いきいき総合戦略、倉吉市総合計画との関連を示して欲しい。
- ③タウンマネージャー 現在不在となっているが、どのような対応となっているか。また、今後どうしていく考えなのか教えて欲しい。
- ④行政や民間の調整をしたり、まちづくりのプランニングをするためにまちづくり会社のようなものがあるとよいと考える。倉吉ではどうなっているか。

2 倉吉駅周辺を中心としたまちづくり

倉吉市中心市街地活性化協議会主催の中心市街地活性化ワークショップ「倉吉の未来を語らいや」（倉吉駅前エリア）では、キーワードは、集約すると

- 短大・看護大をはじめとする若者の集うまち
- 南北のつながり（交通アクセス）であった。

・若者の集うまち

- ①短大・看護大の学生達の生活実態は把握しているか？
 - ・通学方法 ・居住（自宅、自宅外） ・学生生活実態（授業、休憩時間の過ごし方、休日の過ごし方） ・買い物 ・倉吉に対する意見 など

- ②短大・看護大生の地域との関わりについて把握しているか？

- ③大学入試、学生の確保について

鳥取看護大・短大の本年度応募状況はどうなっているか？

- ・看護大学では、本年度センター試験で6名の枠を設けた。中部の受験生や関係者の願いとして、来年度センター試験会場として利用できることを期待しているが、その見通しは？

・中部の学生の割合が20%を切っている。地元の高校から地元の大学・短大への進路 指導、働き場の確保も含めて一連の取組があればもっと割合が上がるのではないか。人材確保の一環として高校、大学、事業体と行政が連携することで地方創生のモデルとなると思うが、如何か。

- ④倉吉にある高校に関連して

ア. 倉吉市にある高校生達の生活実態などは把握しているか？

イ. 倉吉北高校について最近新聞等で気になる話題を見聞きする。倉吉市としても、出来ることがあれば応援しなければならないと思うが、如何か。

○南北のつながり（交通アクセス）

- ① 駅北通り線について。平成32年度までに完成と聞いているが、現状及び今後の予定についてお聞かせ下さい。
- ② 八屋福庭線について。平成29年度までに完成と言うことだが、間違いはないか。
- ③ 北条上井線、特に踏切から倉吉駅にかけての道路について。この区間は、市道となった。駅北通り線が出来るまでは、現状で対応することとなる。交通量も多く、車同士・車と自転車や人との交通事故が心配、市としてどのような対策をお考えか。
- ④ 国道179号線について。県に於いて、田後西交差点からはわいインターチェンジに接続するバイパスを整備する計画も進められると聞いている。山陰道へ接続する国道179号バイパスに関連した情報を教えて欲しい。

・ 中心市街地活性化

- ① 駅前ファーマーズ整備事業では、農産物直売所・多目的ホールとしての整備をされるとのことだが、現状と今後の見通しについてお聞きする。
- ② それ以外の事業についての進捗状況と、見通しについて教えてほしい。
- ③ 伯耆しあわせの郷と旧河北中（薄い緑の場所）の活用について。上井・上北条地区の住民は特に関心の高いところ。これらの活用について市民の意見を聞いたり、関係機関に具申するような機会があれば積極的にお願いしたいと思うが如何か。

・ 倉吉駅周辺の将来展望

① 12街区の活用について

駅北にある市有地とJAの土地、12街区について。中心市街地活性化事業を含む駅周辺の整備が進み交通アクセスがよくなればますます重要な場所となる。現在利用については決まっていないと思うが、今から市民の意見を聞いたり、まちづくり会社が行政と民間の調整役となって公共施設を含む集客施設等への活用について研究していくことがよいのではないか。貴重な一等地を有効に活用したいと考えるが如何か。

② 駅南北のアクセスと周辺整備について

中心市街地活性化計画等によるまちづくりが進み12街区の活用等が決まってくると駅をはさむ南北の道路アクセスの重要性はかわらないと考える。また、旭地区の中でも一部道路や区画整理について住民自らも考えていこうという向きもあると聞いている。交通アクセスに関しても中心市街地活性化やまちづくりの視点で地域住民と行政・まちづくり会社等も関わりを持っていくとよいと

考えまるが如何か。

③若者が集う、コンパクトでにぎわいのあるまちについて。

若者が集う、にぎわいのあるまちとするためニーズ調査をしっかりと、それに答えられるまちづくりを進めなければならない。国道179号線沿いの商業ゾーンも含め、駅周辺の魅力アップを図ることが大切。駅周辺を県の中心部にある地の利を活かして若者が集う、コンパクトでにぎわいのあるまちづくりを見通しを持って計画的に進めていかなければならないと考えるが如何か。

3 打吹地区を中心としたまちづくり

中心市街地活性化ワークショップ「倉吉の未来を語らいや」で、打吹地区エリアでは、集約するとキーワードは、

○町並みと景観、**観光のまち**

○**歴史と文化のかおる**本物志向のまち

○住民同士がつながっている、商いのまち であった。

・**観光のまち**

倉吉ならではのもの、魅力ある観光地・商品づくりに観光マイルス協会等との連携・支援を進めていく必要がある。全国には倉吉と同じようなコンセプトを持つ観光地はかなりある。

①**観光 DMO** を活用した広域観光について

中部地区でも「鳥取中部観光推進機構」が設立された。鳥取中部観光推進機構の設立で変わること、特に打吹地区の観光にどんなメリットが出てくるのか教えて欲しい。

②**実態**を知ること、調査から何を読み解き、活かしていくか。

今後、観光に関する効果的な実態調査と活用という面での取組をどうして行くのか。

③**本物志向 上質（心も懐も豊かな客）な観光**

2月、観光まちづくり講演会があり、講師のお話には倉吉の観光について大きなヒントをいただいた。本物のよさ、歴史や文化、おいしい食と自然、伝統的な日本の美しさなど倉吉は恵まれた資産がたくさんある。本物で、上質なものを提供すれば、それなりの価格であっても満足される方は多い。環境整備（ソフト、仕組みづくり）に関わるのが行政やまちづくり会社。本物で上質な観光への取組をしていくことでも観光のまちづくりが出来ると考えるが如何か。

・**歴史、文化のかおるまち**

①**伝建群地区等の保存と充実**

伝統的建造物群保存地区の保存に関する取組とそれに伴う困難点があれば教えて欲しい。また、文化財の保存（町並み保存）と観光とのバランスということで考えがあればお聞きしたい。

②・歴史的まちづくりの手法

全国では「歴史まちづくり法」に基づく取組をしてるまちが50あまりある。倉吉に於いても、歴史的まちづくりの手法を取り入れたまちづくりを進めることが有効ではないか。歴史的まちづくり（歴史的風致維持向上計画）に取り組んでいる例と倉吉におけるこの取組に関する考えを教えてください。

・中心市街地活性化

- ①小川記念館整備事業では、県指定保護文化財の小川家や庭園などを整備されるとのことだが、現状と今後の見通しについて聞かせてほしい。
- ②それ以外の事業についての進捗状況と、見通しについて教えてほしい。
- ③市営ラグビー場の活用についてです。県立美術館の建設候補予定地として市があげている場所、市民一丸となって、県立美術館誘致に向けてそれぞれが出来ることをしていきたいと考えるが如何か。

・打吹地区の将来展望

- ①倉吉発、情報発信を
- ②ポイントとなる施設

まちなかにあって、倉吉のよさを知ることが出来る、核となる施設が必要。